

上武大学広報

発行

学校法人 学文館
法人本部 企画広報部

上武大学

◇大学本部◇
所在地 〒372-8588
伊勢崎市戸谷塚町634-1
☎0270-32-1010(代)

◇ビジネス情報学部◇
(スポーツ健康マネジメント学科)
☎0270-32-1011(代)

◇大学院経営管理研究科◇
◇ビジネス情報学部◇
(国際ビジネス学科)
◇看護学部◇
所在地 〒370-1393
群馬県高崎市新町270-1
☎0274-42-2828(代)

題字
本学手がぎ文化研究所 所長
日本絵手紙協会名誉会長
小池 邦夫

INDEX

- 全日本大学野球選手権大会ベスト8! …… 1
- 水泳部昇格6人によるパラリンピック出場決定! …… 1
- 令和6年度入学式 …… 2
- スポーツアカデミーinJOBUが今年も開講 …… 3
- 上武大学オープンキャンパス開催 …… 4

全日本大学野球選手権大会 ベスト8!



2塁打を放つ荒巻選手



6月12日に東京ドームで行われた全日本大学野球選手権2回戦(本学シード)にて佛教大学(京滋大学野球連盟)との対戦が行われた。試合は本学エース先発井出投手の10奪三振の活躍もあり7



10奪三振好投の井出投手

回までは投手戦の様相となった。しかし7回、本学4番荒巻選手の2塁打が契機となり2点を先制、その後すぐに1点を返される展開となり、最終回あわや逆転のピンチとなる場面もあったが、



4年生酒井投手の好セーブにより試合は終了。2-1で辛くも勝利を掴むことができた。(ベスト8進出)
翌13日、南東北大学野球連盟代表の東日本国際大との一戦が明治神宮球場にて行われた。試合は3回裏に本学・真野選手の2ランホームランをきっかけに動き、その後敵失によりこの回3点先制。しかし6回表東日本国際大のタイムリー打で2点を返され、8回表には犠牲フライにより同点



最高殊勲選手賞を受賞する岡村選手



硬式野球部、関甲新学生野球リーグ40回目の優勝!
5月11日(土) 上武大野球場にて関甲新学生野球春季リーグ優勝決定



最多本塁打の荒巻選手

戦が行われ、本学硬式野球部は山梨学院大学に対し8-2で勝利し、40度

に追いつかれてしまう。その後タイブレーク制となり10回表敵犠飛により勝ち越しを許してしま

い、それが決勝点となり試合終了。準決勝進出は叶わなかった。



東京2020パラリンピック出場時の由井選手

水泳部・由井選手パリ2024
パラリンピック出場決定!
3月9日~10日の日程で静岡県にて開催された「2024 日本パラ水泳春季チャレンジャーズ」にて、パリ2024 パラリンピック競技大会水泳競技日本代表推薦選手が決定し、本学ビジネス情報学部4年の由井真緒選手が日本代表内定となった(日本パラリンピック委員会への推薦選手は男子12名、女子10名の計22名)。由井選手は前回東京パラリンピックにおいて、

目のリーグ優勝を果たした。これにより第73回全日本大学野球選手権大会への出場が決まり、硬式野球部としては通算で19回

目の出場記録となる。また今季のMVP(最高殊勲選手賞)として本学1年生の岡村魁人選手が選ばれた。



一年365日毎日絵手紙 まるごと小池邦夫 to 恭子 出版のお知らせ

書名: 一年365日毎日絵手紙 まるごと小池邦夫 to 恭子
編著者: 上武大学理事長 / 同大学手がぎ文化研究所代表 澁谷朋子
体裁: B5判 コデックス装幀 オールカラー
定価: 2500円(本体2273円+税10%)
発売: 2024年10月

お申込みは名前(ふりがな)、住所、電話番号と必要冊数を明記し、ハガキ、FAX、メールにて以下までお送りください。なお、お電話でも受け付けております。

〒370-1393 群馬県高崎市新町270-1 上武大学企画広報部 宛
TEL:0274-42-1183 FAX:0274-42-5202 e:mail hisho2@jobu.ac.jp

まるごと小池邦夫 to 恭子 出版記念公開講座告知

日時: 10月13日午前10時~
会場: 上武大学高崎キャンパス 学生ホール
内容: 上武大学澁谷朋子理事長、日本絵手紙協会・登坂和雄会長、絵手紙協会公認講師・小池恭子先生によるトークセッションなど

詳細・お申し込みは大学のホームページまたは企画広報部まで
<https://www.jobu.ac.jp/>

令和6年度入学式

4月4日(木曜日)、令和6年度の入学式が高崎キャンパス三俣記念館大ホールにて執り行われ

た(オンラインライブも併せて配信)。告辞にて澁谷正史学長は「建学の精神『雑草精神(あらく

さだましい)の下、様々なことに挑戦し、自らで考え、自らで行動し、充実した大学生活を送ってほしい」と話し、新入生をあたたかく迎え入れた。



県内6大学合同会社説明会が開催

群馬県私立大学キャリアアサポート会議が主催する県内6大学(上武、高崎商科、前橋国際、関東学園、高崎健康福祉、育英)合同会社説明会が7月13日(土)午後、本学の伊勢崎キャンパスで開催された。群馬県内企業を中心に25社がブースを出展し、多くの学生が真剣な表情で企業説明に聞き入っていた。参加企業、学生ともに満足度の高い説明会となった。



高崎キャンパス 病院説明会が開催

4月10日(水)高崎キャンパスで看護学部生全学年を対象とした「病院説明会」が開催された。

本学の実習先である病院や卒業生が就職している群馬県内29の施設が参加し、各ブースに分かれて病院の概要や仕事の内容などについて、学生たちと面談を行った。参加した学生たちは担当者の説明を熱心に聞き入っていた。1・2年生は病院からの全体説明を各教室で受け、3・4年生は各病院のブースでの面談に臨んだ。学生にとって将来を見据えるための良いきっかけとなる有意義な1日となった。



学内研究発表会

学内の教育と研究の質向上を目的とした「学内研究発表会」が2月26日(月)に高崎キャンパスで開催された。本研究会表会は2部構成となっており、第1部の教員報告では澁谷正史学長による講演「大学内部質保証システムの理解と実施に向けて」からはじまり、柔道整復師コースの渡辺正哉准教授と国際ビジネス

学科の原田桂講師による研究発表が行われた。第2部は学生報告として本学大学院生が修士論文を、学部生が卒業研究海外研修、地域連携・貢献事例の発表、最後には留学生によるスピーチイベントが行われた。会場の観覧者や参加者からは質問や意見、アドバイス、感想等が盛んに寄せられ教育および研究活動の活性化に寄与する研究会となった。



大学内部質保証システムについて講演する澁谷学長



自国の文化を紹介するモンゴルからの留学生

プロ野球日ハム進藤勇也選手が「フレッシュオールスター」優秀選手賞獲得

本学を今年卒業したプロ1年目の日本ハム新藤勇也捕手が、7月20日(土)、兵庫県で行われた「フレッシュオールスターゲーム2024」にて7回に途中出場し、第一打席でウエスタン・リーグ選抜の椎葉投手の直球を捉えレフトスタンドに豪快なソロ本塁打を放つ

た。続く打席でも二塁打を打ち2打数2安打2打点と攻守共に活躍を見せつけ、イースタン・リーグ選抜の勝利に貢献し優秀選手賞を受賞した。進藤選手は試合後「これからも結果にこだわらず、向上心を持って取り組んでいきたい」と意気込みを語った。

能登半島地震に対する義援金の寄付を行う

3月26日(火)、本学ビジネス情報学部3年諸岡怜さん、看護学部1年吉田莉乃さんが、学内で募った能登半島地震に対する義援金を前橋市にある日本赤十字社群馬県支部に届けた。2名が中心となり両学部の学生や教職員などに自ら声掛けを行い、少しでも復興支援に繋がればという思いで協力を呼びかけたという。義援金は

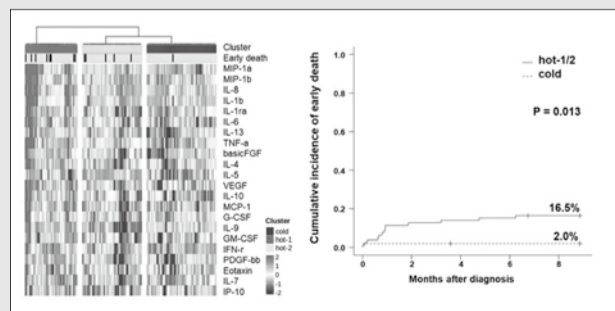
日本赤十字社を通じて全額が被災者の方々に送られる。(※学年は当時のもの)



林泰秀客員教授は小児疾患のマーカー解析を行い、Blood Advances誌に原著論文を発表

医学生理学研究所の林泰秀客員教授は群馬大学と共同研究を行い、小児疾患、一過性骨髄異常増殖症(TAM)の早期発見のためのバイオマーカーを見出して英文論文を発表した。研究内容としては、一過性骨髄異常増殖症(TAM)はダウン症(DS)の新生児の約10%に発症し、多くは自然治癒をする一方で、およそ20%の症例は早期死亡に至る。そのため、早期死亡を予測し、治療介入を決定するための新たなバイオマーカーが必要である。林泰秀医学生理学研究所客員教授と群馬大学は共

同でTAM患者における臨床的特徴とサイトカインレベルとの解析を行い、サイトカイン解析の臨床的意義を明らかにした一方、日本小児白血病・リンパ腫研究グループが実施したTAM-10臨床研究に登録されたTAMのDS患者128例に対して27種類のサイトカイン解析を行った。そのうち5つのサイトカイン値[インターロイキン(IL)-1b、IL-1ra、IL-6、IL-8、およびIL-13]は、早期死亡の患者で非早期死亡の患者よりも有意に高かった。また、128例に対して教師なしコンセンサスクラスタリングを行うと、患者は3つのサイトカイン群hot-1、hot-2、coldに分類され、早期死亡のCIRはサイトカイン群間で有意差があった。これらの結果は、サイトカインレベルの測定がTAM患者の早期死亡の予測に有用であり、治療的介入の必要性を判断するのに役立つことを示唆する貴重な情報を提供するものである。



令和5年度学位記授与式が執り行われました

3月15日金曜日、令和5年度上武大学学位記授与式が高崎キャンパス三保記念館大ホールにて行われた。式に際し澁谷正史学長は「本日卒業を迎える卒業生諸君は入学と同時に新型コロナウイルス感染症禍で学生生活に様々な制限がかけられる中で本学の建学の精神『雑草精神(あらくさたましい)』の

通り逆境の中で努力を続けた。これからは社会の一員として自らの考えで行動し、様々なことに興味を持ち、常に学び続ける姿勢を大切にしてください。皆様の今後のご活躍に期待します」と菓立ちゆく卒業生に言葉をお贈った。なお在学中に優秀な成績を残した卒業生を表彰する「優秀学生表彰」では、チアリーダーとして活躍させた中村泉咲さんが代表で受賞した。



新潟県で開催された「第40回U20日本選手権」

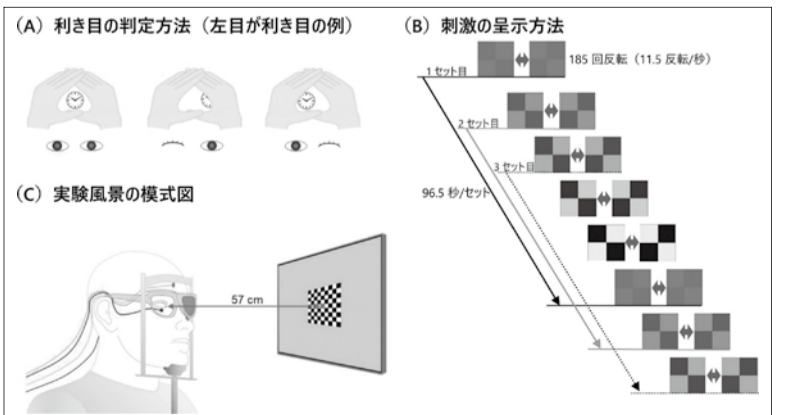
日本陸上競技選手権大会で駅伝部・尾島樹選手がU20男子3000m障害物3位を獲得!

の男子3000m障害物(6月27日(木))にて本学駅伝部1年生の尾島樹選手が自己ベストの8分51秒08を記録し、3位入賞で銅メダルを獲得した。3000m障害物は1周400mの中にハードルのような4つの障害と1台の水濠が設置されたコースを走る競技である。障害物であるハードルを28回、水濠を7回と計35回も跳び越えつつ、中距離走に近いスピードで尾島選手は激走し、見事表彰台に上がった。

新潟・デンカビッグスワンスタジアムにて

竹内成生教授らの論文が日本生理心理学会2023年度優秀論文賞を受賞

竹内成生教授(ビジネス情報学部・医学生理学研究所)らの『論文非優位眼のパターン網膜電位コントラストゲインは抑うつ状態を反映する』生理心理学と精神生理学 竹内成生・関口浩文・宮崎真 41(2) 184-196. <https://doi.org/10.5674/jpppp.2308oa> (オープンアクセス) が日本生理心理学会2023年度優秀論文賞を受賞した。授賞式および受賞講演は、横浜市(資生堂 S/PARKホール)で開催された第42回日本生理心理学会の最終日2024年5月26日に執り行われた。



高崎市内私立大学・短期大学連携事例発表会で本学学生が事例発表を行う

2月20日、新潟学園短期大学にて高崎市内の8つの教育機関が集まり「市内私立大学・短期大学連携事例発表会」が産学官連携・地域貢献活動による地域振興を目指して「」が開催され、本学の3名の学生が事例発表を行った。ビジネス情報学部の木根湖さん、岩下さん、内藤さんは「上武大

学サッカー部」サッカーを通じて地域貢献の記録」と題したサッカー部による地域貢献活動、とりわけ地域の児童生徒に対してのサッカー指導や、幼稚園での園児へのサッカー教室について指導上で得た気づきや、成果等を発表した。その後他大学からそれぞれの事例発表が行われ、最後には高宮先生より、「上武大学が有するスポーツの専門性を十分に生かした取り組みであり、様々な工夫が見られた。ぜひこれからも取り組みを継続していただきたい」との講評をいただいた。



女子バスケットボール部に木葉一総氏が監督就任

を目標とする。周りに愛される元気で明るいクラブにしていく」とチームビジョンを語った。

元鹿屋体育大学監督等を歴任した木葉一総氏が本学女子バスケットボール部監督に7月1日付で就任した。木葉新監督は日立製作所、大東文化大学、鹿屋体育大学、筑波大学などの名門チームを指揮した実績を持ち、国立鹿屋体育大学では准教授として教鞭を取った経歴を持つ指導者である。木葉監督は就任に際し「当面の目標として2部への昇格とインカレ出場を目指す。



女子バスケットボール部は、高崎市内の8つの教育機関が集まり「市内私立大学・短期大学連携事例発表会」が産学官連携・地域貢献活動による地域振興を目指して「」が開催され、本学の3名の学生が事例発表を行った。ビジネス情報学部の木根湖さん、岩下さん、内藤さんは「上武大

スポーツアカデミーinJOBUが今年も開講【公開講座】

2月26日、スポーツアカデミーinJOBUが伊勢崎キャンパスにて開講された。あいにく雨模様の日となったが、募集定員いっぱいを受講者が来校しスポーツ指導を受けた。実施内容としては各コースに分かれ陸上競技部・諏訪監督の長距離とウォーキングと原コー

レーニング法について手取り足取り細やかな指導が行われた。実技終了後は質問時間が設けられて受講者からのいろいろな質問が寄せられ、和やかな雰囲気の中無事終了した。スポーツアカデミーを通じて将来のオリンピックが誕生することを期待したい。



長距離走を指導する諏訪監督



室内で短距離走を指導する原コーチ

上武大学オープンキャンパス開催



参加者とランチ体験を共にする学生ボランティア



満員となった高崎キャンパス学生ホール

参加者を案内する看護学生

7月7日(日曜日)に上武大学高崎・伊勢崎両キャンパスで第1回目の夏のオープンキャンパスが実施され、記録的な暑さの中にもかかわらず多くの生徒とその保護者の参加をえて盛況のうち終了。

今年度からは人気イベント「ランチ体験」が復活し、おいしい学食を参加者は楽しんでいました。その他、本学の学生と交流し大学生活についての質問をしたり、個別相談コーナーで先生に直接進路についてアドバイスをもらったりした後、参加特典のグッズを手に、満足した表情で会場を後にしました。

参加学生と保護者からは「設備が整っている」、「先生や学生から学生生活や疑問に思ったことを優しく教えてもらえてよかった」、「大学では手厚い指導が受けられそうだな」と思った。実際に演習を目の前で行ってくださったのかっこ良かった」などの声が上がっていた。

人気イベント「ランチ体験」が復活!

澁谷学長(医学生理学研究所所長)がScholarGPS Highly Ranked Scholar血管新生因子(VEGF)で世界3位を獲得!!

世界の5万研究機関、3000万人の研究者の貢献度を測るScholarGPS社が「Highly Ranked Scholar」にて、本学の学長で医学生理学研究所長の澁谷正史学長が全研究者の中で、「血管新生因子(VEGF)」部門で3番目、「増殖因子受容体」で11番目、「血管新生」で13番目、「増殖因子」で30番目、「シグナル伝達」で77番目の貢献度を誇る研究者であることを示した。

ScholarGPS公式サイト (<https://scholargps.com/scholars/64343368904665/masabumi-shibuya>) では、澁谷学長の著作物が10年以上に渡り年間で1000件以上、計4万回以上もの引用がなされているとし、そのほか貢献度の根拠となる詳細なデータを記している。



駅伝部

パトリック・カマウ選手が
士別マラソン3連覇!!

第37回サフォークランド士別ハーフマラソンが7月21日に北海道士別市行われ、男子ハーフの部で本学のカマウ・パトリック選手が1時3分42秒を記録し優勝した。当日は32度の炎天下という過酷な環境下で実施されたが、本学カマウ選手の軽快な走りで多くの有力実業団選手を追い抜き見事1着でフィニッシュ、3連覇を果たした。

3月18日(月)上武大学伊勢崎キャンパスにて、田坂和昭氏の本学サッカー部監督就任記者会見が開かれた。これまでに田坂氏は主にミッドフィールダーとしてベルマーレ平塚、清水エスパルス、



**サッカー元日本代表・田坂和昭氏が
本学サッカー部監督に就任**

セレッソ大阪、更にはトルシエ監督率いる日本代表として活躍した選手として知られており、指導者としては大分トリニータ、清水エスパルス、福島ユナイテッドFCなどの名門チームを指揮し、数多くの著名なプレイヤーの育成に力を注いだ経歴を持つ。

会見にて田坂新監督は「大学スポーツに携わるにあたり、学生の人間形成や地域貢献など行っていきたい。上武大学で学んでよかったと思われる教育指導を行う」と話し、「自分で考え、自分で行動できる選手・チーム作りを行い、一歩一歩地道に関東学生リーグ昇格を目指していく」と今後のビジョンを報道陣に披露した。

なお田坂氏はビジネス情報学部の准教授として教職課程などの授業を後期から受け持ち、指導者として、教育研究者として本学のスポーツ教育に深くコミットしていく予定である。

あらくさ 第50回 雑草祭

テーマ: 「根を張れ雑草(あらくさ)の如し」
日時: 10月13日(日)・14日(月祝)
10:00~17:00(両日とも)
場所: 高崎キャンパス